

**ご注文書**

|               |   |   |   |
|---------------|---|---|---|
| お名前           |   | TEL   | FAX   |
| ご住所<br>(〒 — ) |   |   |   |
| 右の口に✓を入れてください |   | ①新刊のみ購入<br>2018年秋発行【コロサイ・ピレモン】 <input type="checkbox"/>   | ②新刊からの予約購入<br>【コロサイ・ピレモン】以降の新刊全書 <input type="checkbox"/> |
|               |   | ③各書を選んで購入<br>冊数をご記入ください ↓   |   |
| 1             | マタイの福音書<br>¥3,100                             | イエス様の静かなる挑戦「山の上の教え」から、福音と律法主義の火花を散らすような激しい対決。「遺言的たとえ話」に至るまで、福音の真理が輝く一書。構造の美しさに、驚嘆する。  | 冊   |
| 2             | ルカ(上) 1~10章<br>¥3,200                         | 「アガペーの愛」とは「内臓する愛・内臓がひきちぎられるような痛み・憐みの情」ルカがわずかに3回記すスプランクニゾマイ・「内臓する」という動詞の主体者は、神様に限定される。ルカ(下)と合わせ、福音書決定版。「使徒の働き」と併せて読みたい。  | 冊   |
| 3             | ルカ(下) 11~24章<br>¥4,000                        | イエス様は聖書を理解させるため弟子たちの心(思考)を啓(開)かれた。(ルカ24:45)福音総理解とは、イエス様(聖霊)が【聖書を啓(開)いて】くださるので、【私たちの思考(知性)が啓(開)かれ】【私たちの霊的な目も啓(開)かれて、聖書のすべてのページにイエス様(のお心=福音の真理)を知ること】である。   | 冊   |
| 4             | ヨハネ(上) 1~10章<br>¥2,000                        | ユダヤ人宗教指導者たちとイエス様の「対決の構図」において展開されている。4つの福音書の中でとりわけ明快に、驚くほどの速いテンポで、神様の御子息キリストの最期に向けた戦いが展開されている一書。   | 冊   |
| 5             | ヨハネ(下) 11~21章<br>¥2,700                       | 最後の晩餐において、イエス様は最初で最後の「聖霊」の集中講義をされる。クリスチャン信仰生活のいのちなる「聖霊」の働きを、主ご自身から集中的に教えていただけるのは、ヨハネ14章~16章だけ。  | 冊   |
| 6             | 使徒の働き<br>¥4,900                               | 律法主義から福音総理解へ。この断絶と連続の関係性に向けて、使徒たちの思考の転換による福音の真理の総理解に至るまでの、教会形成と宣教活動の、長く、厳しい苦闘の記録から、歴史の教会が学ぶ事とは。   | 冊   |
| 7             | ローマ人への手紙<br>¥4,000                            | 信仰義認が主題。新約聖書中、唯一の神学的総合教理書。聖書の心臓「ガラテヤ人への手紙」の「信仰義認」「信仰聖化」を詳しく展開し、体系的にまとめ上げている。  | 冊   |
| 8             | コリント人への手紙(I)<br>¥1,400                        | 当時の教会の特殊な諸問題に答える・・・という手紙本来の特徴は、今日への適用が重要となる。正しい釈義(そのとき、何があったのか)→解釈の原則「キリスト様の心」→適用を学ぶ一書。   | 冊   |
| 9             | コリント人への手紙(II)<br>¥1,700                       | 3部構成のこの手紙は、危機的状況にあって、パウロの個人的で個性的な色彩が強いという点において実存的であり、「牧師とは何者か」「牧会とは何か」を適用的に知ることができる貴重な教科書。  | 冊   |
| 10            | ガラテヤ人への手紙<br>¥2,700                           | 「ローマ人への手紙」と共に、歴史の教会が守るべき「福音の真理」のマグナ・カルタ(大憲章)的な書。律法主義的で異端的指導者たちの暗躍に対して、パウロという実存が激烈に躍動し「信仰義認・信仰聖化」を教える。   | 冊   |
| 11            | エペソ人への手紙<br>¥1,800                            | 「教会」に焦点を絞った唯一の「手紙」である本書には、「神様のお心/み旨」ということばが5回出ています。神様の「みこころ」と邦訳されている原語は「意志=will」であり「heart」でも「mind」でもない。本書において、「神様のご意志」とは、神様の永遠のお心において立ち上げられた人類と被造物のための「救いのご計画全体」の完結に向けて取り組む「神様の実践へのご意志」である。これは新約聖書全体を貫き、救済史すべてに響く通低音。         | 冊   |
| 12            | ヤコブの手紙<br>¥2,500                              | 人々を悩ませ迷わせる「人が義と認められるのは、行いによるのであって、信仰だけによるのではない」【ヤコブ2:24】ヤコブのこの言葉は「義認論」ではなく「信仰と実践の聖化論」であることを、釈義から明快に解説。  | 冊   |
| 13            | ヨハネの手紙(I II III)<br>¥1,400                    | 迫害の時代、反キリストを正し、諸教会を守るために書かれた書。ヨハネの福音書と併せて読みたい。「愛なる神様」より先に「光なる神様」を前半に出すのは、姉妹兄弟愛は十字架があつてこそを教えるため。   | 冊   |
| 14            | ヨハネの黙示録<br>¥3,200                             | この預言の主眼こそは、「キリスト教会の勝利とその完成」。未来に絶対確実に実現する救いの完成と約束の書。その構造を丁寧に解き明かす。この書から激励を受けた1世紀の教会は、敵であるローマを愛し、宣教を加速。ついに帝国の国教となった(AD392)。   | 冊   |
| 15            | 福音総理解<br>¥2,200                               | イエス様のたとえ話(マタイ・ルカ)全27話から、JTJ宣教神学校の根幹を成す「福音総理解」を学ぶ。「信仰」→「神学」→「倫理」を考察する。宣教なき神学は虚しく、神学なき宣教は危険。福音の理解に一致を、信仰の表現に自由を、すべての主にある教会に愛を。  | 冊   |
| 最新刊           | コロサイ人・ピレモンへの手紙<br>¥2,500                      | 13書簡に及ぶ、パウロの執筆活動は突き詰めて言えば次の2点の弁証である。1点は「イエス・キリストとはだれか！」この「キリスト論」に特化したのが、本書「コロサイ人への手紙」である。全95節の中に、「キリスト」は66回も出てくる。もう1点は、「神様の救いのご計画の全体=天国の奥義(複数)の明示による、教会の存在と、活動の根拠と意義」であり本書と同時期に書かれた「エペソ」に詳しい。「ピレモンへの手紙」は、キリストの贖罪愛が燦然と輝く一書である。 | 冊   |
| 定価(税別)        | ご注文は Jesus To Japan 宣教神学校 まで FAX 03-3842-3415 |   |   |